

9月 トビタテレポート

岩手大学教育学部4年 千葉さりな

9月は、語学学校に通いました。語学学校には、初級から上級のクラスがあり、新入生はレベル分けテストに応じて各クラスに配属されます。私が入学した週の新入生はとても多かったのですが、クラスに配属されたのは私一人だけで、最初は馴染めるかととても不安でした。私のクラスメイトは台湾・タイ・コロンビア・韓国・日本と、様々な国の生徒が在籍していました。授業に参加してみると、海外の生徒はとても積極的で、文法を間違えてもとにかく話します。日本人のような協調性や慎重に話すという雰囲気とは違い、とても驚きました。

私が通った学校では英語オンリーポリシーで母国語を話すとペナルティが課せられるので、英語を話す機会が必然的に多くなります。そのため、私も必死で英語を話し、クラスメイトとたくさん会話したことで、一週間後にはクラスに馴染めるようになりました。授業ではディスカッションが多く取り入れられました。毎週水曜日にテストを行い、成績によってはレベルが下がったり、上がったりします。こういった厳しい環境で約1か月間英語を学習しながら、各国のたく

さんの友達と仲良くなることができました。語学学校での生活を振り返ってみて、世界共通言語である英語は、色々な国の人と人をつなぐ素敵な言語だと感じました。まだまだ英語知識は乏しいですが、これから人との話を広げるために、学習を続けていきたいと思います。

